

権利擁護／虐待防止①

基礎知識編

②基本的人権とはどんな権利？

この教材の目的

- 基本的人権の具体的内容と権利の性質を理解することによって、人権意識の向上を図る。

基本的人権が規定されているのは、 以下のどちらだと思いますか？

1. 日本の最高法規の「日本国憲法」(1947)
2. 社会福祉の基本法の「社会福祉法」(2000)

基本的人権を規定しているのは・・・

①日本国憲法

日本国憲法による基本的人権の規定
侵すことのできない永久の権利（第11条）

※社会福祉法 ➡ 社会福祉の増進を目的

日本国憲法における 基本的人権規定

国家による国民の権利保障。

➡ 公共の福祉に反しない限り、最大限に保障される。

※公共の福祉

例：表現の自由はあっても、プライバシーを侵すことは認められない、など。

基本的人権の分類

- 自由権
- 社会権
- 参政権
- 国務請求権

※分類法には、諸説あり。

以下の文章は適切ですか？

社会権は、
国民の幸福な生活を保障
することを国に要求す
る権利である。

適切

社会権

国民の幸福な生活を保障することを国に要求する権利。

※自由権は国から勝ち取ったものであるのに対し、社会権は幸福な生活の保障を求める国民に応え、国が積極的に保障することで実現する。国民の要求に応える国は「福祉国家」と呼ばれる。

(参考) 参政権

国民が政治過程への参加を要求する権利。

平成25年の公職選挙法改正で、成年被後見人の選挙権が回復された。

➡ それ以前は、成年被後見人になると、選挙権がなくなっていた。

次の権利のうち，社会権に当たるのはどれでしょうか？

- ①思想・良心の自由
- ②健康で文化的な最低限度の生活を営む権利
- ③不当に抑留・拘禁されない
- ④居住・移転・職業選択の自由
- ⑤勤労の義務と権利

答え

- ②健康で文化的な最低限度の生活を営む権利
- ⑤勤労の義務と権利

社会権は、国民の福祉の向上のための権利。

※②健康で文化的な最低限度の生活を営む権利は生存権と呼ばれる権利。現在は一步進めた「幸福追求権」も福祉の基本原理。

- ①思想・良心の自由 ➡ 精神的自由権
- ③不当に抑留・拘禁されない ➡ 身体的自由権
- ④居住・移転・職業選択の自由 ➡ 経済的自由権

自分でできることはすべて自分で行ってもらうことは基本的人権を尊重したケアとは言えないのはなぜだと思いますか？

考えるヒント：尊厳の尊重

答え(例)

- 自分でできることは自立支援のために重要だが、すべてを行うことは時間がかかりすぎることもあるため。
- 時間がかかることで本人の尊厳が傷つくこともあるため。

などなど

集团的ケアが，基本的人権を尊重したケアだと言えないのはなぜだと思いますか？

考えるヒント：自己決定，個別ケア

答え(例)

- ご利用者みんなに平等かもしれないが、これまでの生活歴, 生活習慣が軽視されるため。
 - 自己決定の機会が少ないため。
- などなど

この教材を終えるにあたって

基本的人権は「必ず守らなければならない」という義務に基づく権利です。

「守らなければ罰せられるから」あるいは「守らなければ他人に認められない」といった性格のものではありません。

「必ず守らなければならない」と思えることが自律性の高い行動につながります。ひいては、それが倫理性の高い組織の土台となります。

お疲れさまでした。